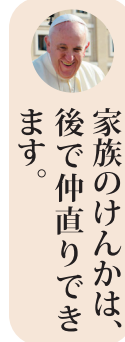


キーワードで読み解く 回勅 兄弟の皆さん

連載第6回(全7回)

酒井俊弘補佐司教

第7章「再び会う道」の教皇フランシスコならではのキーワードをご紹介します。



家族のけんかは、後で仲直りできます。

230 けんかはありますが、変わらないものがあります。家族のきずなです。家族のけんかは、後で仲直りできます。一人ひとりの喜びや悲しみは、皆のもの。そうなのです。家族であるとは、こういうことなのです。もし、政治的に対立する人や近所の人に、子ども、妻、夫、父親、母親に注ぐのと同じまなざしを向けることができたら、どんなによいでしょう。

242 いかなる家庭、いかなる地域コミュニティ、いかなる民族集団、ましていかなる国にとつて、団結させ、結束させ、違いを乗り越えさせる原動力が復讐と憎悪であるならば、未来はありません。……結局は、何もかも失うことになるのです。

251 真にゆるす人たちは忘れるのではなく、自分を傷つけたそれと同じ破壊的な力に取りつかれた状態から離れる決意をするのです。負の連鎖を断ち切り、破壊力の増大を押しとどめまします。……復讐は、何も解決しません。

258 わたしたちはもはや、戦争を解決策と考えることはできないのです。戦争によつて手にされるであろう成果よりも、つねにリスクのほうが大きいはずだから

268・270 すべてのキリスト者と善意ある人々は、合法・非合法を問わず、あらゆる形態の死刑を廃止すべく闘うよう、またそれだけでなく、自由を奪われた人の人間としての尊厳を守り、刑務所の環境改善のためにも闘うよう求められています。……暴力に駆られた弟子を前に、イエスは決然といわれました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26・52)。……イエスの心からわき出たこの反応は、時代を超えて、変わらない呼びかけとして今日に届くのです。

268・270 すべてのキリスト者と善意ある人々は、合法・非合法を問わず、あらゆる形態の死刑を廃止すべく闘うよう、またそれだけでなく、自由を奪われた人の人間としての尊厳を守り、刑務所の環境改善のためにも闘うよう求められています。……暴力に駆られた弟子を前に、イエスは決然といわれました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26・52)。……イエスの心からわき出たこの反応は、時代を超えて、変わらない呼びかけとして今日に届くのです。

268・270 すべてのキリスト者と善意ある人々は、合法・非合法を問わず、あらゆる形態の死刑を廃止すべく闘うよう、またそれだけでなく、自由を奪われた人の人間としての尊厳を守り、刑務所の環境改善のためにも闘うよう求められています。……暴力に駆られた弟子を前に、イエスは決然といわれました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26・52)。……イエスの心からわき出たこの反応は、時代を超えて、変わらない呼びかけとして今日に届くのです。

268・270 すべてのキリスト者と善意ある人々は、合法・非合法を問わず、あらゆる形態の死刑を廃止すべく闘うよう、またそれだけでなく、自由を奪われた人の人間としての尊厳を守り、刑務所の環境改善のためにも闘うよう求められています。……暴力に駆られた弟子を前に、イエスは決然といわれました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26・52)。……イエスの心からわき出たこの反応は、時代を超えて、変わらない呼びかけとして今日に届くのです。

268・270 すべてのキリスト者と善意ある人々は、合法・非合法を問わず、あらゆる形態の死刑を廃止すべく闘うよう、またそれだけでなく、自由を奪われた人の人間としての尊厳を守り、刑務所の環境改善のためにも闘うよう求められています。……暴力に駆られた弟子を前に、イエスは決然といわれました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26・52)。……イエスの心からわき出たこの反応は、時代を超えて、変わらない呼びかけとして今日に届くのです。

268・270 すべてのキリスト者と善意ある人々は、合法・非合法を問わず、あらゆる形態の死刑を廃止すべく闘うよう、またそれだけでなく、自由を奪われた人の人間としての尊厳を守り、刑務所の環境改善のためにも闘うよう求められています。……暴力に駆られた弟子を前に、イエスは決然といわれました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26・52)。……イエスの心からわき出たこの反応は、時代を超えて、変わらない呼びかけとして今日に届くのです。


268・270 すべてのキリスト者と善意ある人々は、合法・非合法を問わず、あらゆる形態の死刑を廃止すべく闘うよう、またそれだけでなく、自由を奪われた人の人間としての尊厳を守り、刑務所の環境改善のためにも闘うよう求められています。……暴力に駆られた弟子を前に、イエスは決然といわれました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26・52)。……イエスの心からわき出たこの反応は、時代を超えて、変わらない呼びかけとして今日に届くのです。

268・270 すべてのキリスト者と善意ある人々は、合法・非合法を問わず、あらゆる形態の死刑を廃止すべく闘うよう、またそれだけでなく、自由を奪われた人の人間としての尊厳を守り、刑務所の環境改善のためにも闘うよう求められています。……暴力に駆られた弟子を前に、イエスは決然といわれました。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ26・52)。……イエスの心からわき出たこの反応は、時代を超えて、変わらない呼びかけとして今日に届くのです。

ようこそ、大阪教区へ！

司祭紹介

トマス・ティアゴ・ダ・コンセサオ・エステヴァオ神父




出身地 モザンビーク国 ナンプーラ市
生年月日 1989年4月7日
所属 ボアノヴァ宣教会
司牧担当 日本語研修

大阪教区の皆さんへ

「わたしは福音を恥としない。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力だからです」
(ローマ1・16)

私は皆さんのために日本に来ました。私はキリストに従い、キリストを証しする道を皆さんと共に歩むことを願って、ここにいます。皆さんからキリストに従うことを学びたいと思っています。あなたの祝福を受けたいです。兄弟、仲間、友人として、神の愛を証しするあなたの道を共に歩みたいと思います。

バチカンのサイトから『兄弟の皆さん』の日本語PDF版を見ることができるようになりました。




たとえ日本では少数派であっても、私たちは死刑廃止論を訴えていかなければなりません。

ラジオ 信仰の時間

神さまの熱意

〈12月18日放送分〉



春名昌哉神父 (堺ブロック)

「ミサの朗読の中で一番好きな箇所はどこですか」。ある信者さんからこのような質問をされたことがあります。そのとき私は「全部好きですよ。でもその中でも一番と言われたら、『主の降誕』の夜半のミサの第一朗読です」と答えました。これから先も同じ質問をされたら、やはり同じ答えをしたいと思います。降誕祭夜半のミサの第1朗読のイザヤの預言(9・1～6)を読んでいると、神さまの私たち人間を救いたいという気持ちがどれほどのものだったかが伝わってくるからです。この箇所を朗読し分かち合いたいです。

「闇の中を歩む民は、大いなる光を見、死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。あなたは深い喜びと大きな楽しみをお与えになり、人々は御前に喜び祝った。刈り入れの時を祝

うように、戦利品を分け合って楽しむように。彼らの負う軛、肩を打つ杖、虐げる者の鞭をあなたはメディアンの日のように折ってください。地を踏み鳴らした兵士の靴、血にまみれた軍服はことごとく火に投げ込まれ、焼き尽くされた。ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、『驚くべき指導者、力ある神、永遠の父、平和の君』と唱えられる。ダビデの王座とその王国に権威は増し平和は絶えることがない。王国は正義と恵みの業によって今もそしてとこしえに、立てられ支えられる。万軍の主の熱意がこれを成し遂げる」。

神さまは「闇の中を歩む民、死の陰の地に住む者」に大いなる光を輝かせてくださいます。闇の中で進むべき方向がわからず、希望を持つことができずにそこから動けなくなっている人びとを神さまは大いなる光で照らし、導いてくださいます。これは私たち人間の側から望んだことではなく、神さまが私たちのために望まれたことなのです。

旧約聖書の時代から人間は神さまを裏切り続けてきたといっても過言ではありません。最初の人間であるアダムとエバが犯した罪。モーセによって奴隷状態となっていたエジプトから脱出し、約束の地へと導かれたイスラエルの民は、エジプトで、また約束の地に向かう旅の途中で神さまのたくさんの業を見て

きたにもかかわらず、神さまを裏切り続けました。王国時代には、王も民も神さまが命じられたことを忘れ、目先の利益に走るなど、自分の欲望を満たすことに終始しました。神さまのわざを見てすぐは、信仰を増したはずなのに、「喉元過ぎれば熱さを忘れる」のことわざの通り、時間が経てばその恵みを忘れ去り、自分の欲望に負けていく人間の姿。そんな人間を救おうと神さまは忍耐強く待ち続けてくださり、人間が回心することを望まれました。それほどまでに神さまは私たち人間を救いたいと望んでくださったのです。

キリストは私たちと神さまとの絆を結び直すために地上へと来てくださいました。ここに示された神さまの私たち人間への大きな愛。最愛のひとり子を私たちの救いのために遣わしてくださったことに心から感謝する日です。「万軍の主の熱意がこれを成し遂げる」。私たちもこの神さまの熱意を受けとめ、すべての人びとがキリストの平和のうちに生きる世界を作るために働く者となる。神さまの熱意を受けて、私たちも救いを告げる人になるのです。

毎週日曜日 5:50～6:00AM 放送
2月担当：松浦 謙神父
ABC ラジオ (朝日放送) AM1008/FM93.3
スマホアプリの radiko でも聴けます。